

# 銀イオンについて

銀イオンとは  
銀が分子状態で水に溶解し、電荷を持ち活性化したもの。

銀イオンの殺菌効果  
レジオネラ属菌.大腸菌.一般細菌.MRSA.ヘルペスウイルス.赤痢菌等ほとんどの菌に対して有効。  
ただし、芽胞菌.カイセンには効果はほとんどありません。



## 銀イオンの安全性

銀は既存添加物名簿126番に食品添加物として認可されています。食品である仁丹やアラザンの表面に純銀コーティングを行なっているのは、この程度の銀は体内に取り込んでも無害であるとの裏付けがあるからです。またよく水銀との違いの質問を受けますが、両者の共通点は金属元素であることと、色調が同じ銀色であることだけです。有毒な水銀は体内に入り込むと排出されずに、脳機能や神経に障害を及ぼします。

## 銀イオンの安全性（発表論文抜粋）

- ・人が0.1ppmの銀イオン水を15日間飲用しても、病理学的な症状は認められなかった。
- ・ネズミによる実験では、1ppmの銀イオン水は毒性作用を及ぼさなかった。
- ・銀は飲料水の消毒と防腐に0.05～0.2ppmの濃度で使用される。この濃度では銀沈着症は生じない。

補足：**銀沈着症**とは、傷口や熱症の治療目的などで多量の銀を用いたとき、皮膚.粘膜.毛細血管壁.骨髄などへ硫化銀が蓄積する症状ですが、銀沈着症による生命の危険はありません。

銀0.000001ppm～0.5ppmの量で、水を殺菌消毒するのに十分である。  
この程度の濃度の銀を摂取しても、人間に対して有毒ではない。